

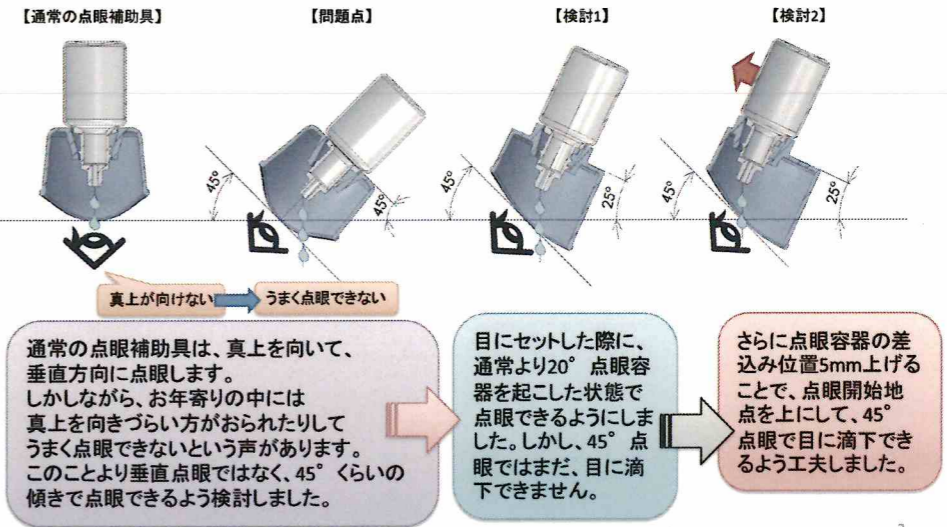
(1) 企業の部		(2) 一般の部		受付 番号	57
ふりがな	てんがんほじょぐ				
作品の名称	点眼補助具				
ふりがな	にとつうめでいっくかぶしがいしゃ	ふりがな	にしたに ごう		
会社名	日東メディック株式会社	発明者名	西谷 豪		
	きたのせいさくかぶしがいしゃ		たねだ ちなみ		
	キタノ製作株式会社		種田 知波		
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号 特開 2019-118760	登録番号 審査未請求	外国特許他 無し	
特徴と要点 (必ずご記入下さい)					
<p>点眼する際に使用する補助具。 目に当てるカップ部品と手で握るレバー部品の2部品で構成されており、2部品は嵌合されている。使用法は、点眼瓶のキャップを外して、当該補助具の中央部に点眼瓶を差込んだ状態で、カップ部品を目の周囲に押し当て、レバー部品を握ることで1滴点眼させることができる。</p> <p>点眼作業は、目に薬を滴下するだけのことだが、上体を反らせ、腕を高く持ち上げて、指先を使って、目という狭い範囲に正確に1滴落とさなければならず、お年寄にとっては容易でない場合がある。</p> <p>これまでも点眼補助具は存在したが、操作性が高度なものであったり、真上を向いたり、指先に力を入れる必要があり、うまく点眼できないケースが存在した。</p> <p>当該補助具は、お年寄の点眼作業を助けることをコンセプトとしており、真上を向かなくとも45°程首を曲げる程度で滴下の焦点が合う形状となっており、また滴下時は指ではなく手を握ることで点眼瓶の側面が押され点眼することができる。これにより、上体を反らしにくい方や、指先に力が入りづらい方でも容易に滴下でき、点眼することができる。</p> <p>当該補助具を使用できる対象点眼瓶は、日東メディックが取り扱う点眼剤。(約40種) 現在、「点眼お助けくん」という商品名にて製品化され、特定の眼科医院にて販売されている。</p>					

～製品の特徴～

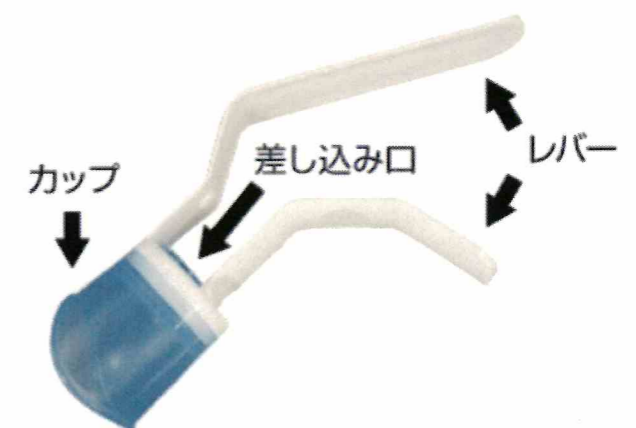
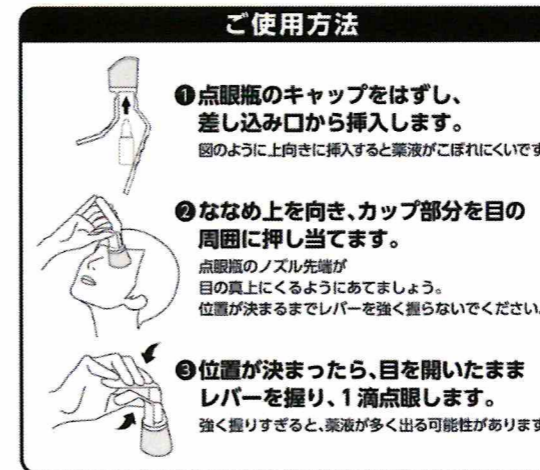
- 45°傾けた状態で滴下できる形状設計
→上体の反らしと、腕の持ち上げについて、なるべく少ない動作量で滴下できるよう配慮した設計。

(1) 45°傾けた状態で滴下できる形状設計

～真上を向けないお年寄りでも、滴下しやすい形状～



- 指先に力が入りにくい方でも握ることで滴下が可能なレバー付き
- 簡便な操作性→左右両眼で補助具を持ち変える必要がなく、直感的に操作可能。



- カップ内部の洗浄が容易である。
→カップ内部に補強リブ等の設置がないため、洗浄が容易である。

【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 第一次審査は、この説明書のみでなされ、使用法など不明確な場合は、審査にもれることがあります。
- 従来のもの(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に、令和元年9月20日(金)までに事務局へ提出して下さい。